



— 企画展 —

語り継がれる 名護屋城

謎の城跡は、なぜ遺されたのか?



2017年 9.22 [金] - 11.5 [日]

観覧
無料

休館日／毎週月曜日(ただし10/9は開館、10/10は休館) 開館時間／午前9時～午後5時
主催／佐賀県立名護屋城博物館 後援／唐津市、唐津市教育委員会、玄海町、玄海町教育委員会、一般社団法人唐津観光協会



佐賀県立 名護屋城博物館
Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

TEL.0955-82-4905 FAX.0955-82-5664
〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3
e-mail: nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp

上左右:正清猛虎討取図 名古屋市秀吉清正記念館蔵
上中央:名護屋城跡天守台
下 左:重要文化財 豊臣秀吉朱印状
公益財団法人立花財団立花家史料館蔵
下中央:名護屋城跡写真絵葉書(大正～昭和初期) 本館蔵
下 右:豊臣秀吉画像(岡田玉山筆) 大阪城天守閣蔵

平成29年度企画展

語り継がれる 名護屋城

豊臣秀吉による大陸侵攻(文禄・慶長の役)の出兵拠点として築かれた名護屋城。

戦争の終結とともにその役目を終えたものの、江戸時代以降は、戦いの「記憶」を語り継ぐ存在として、新たな歴史を刻み始めました。

江戸時代の武家社会では、先祖の武功がゆかりの品々とともに語り継がれ、庶民の間では「太閤記」や虎退治の逸話を通して戦いの「記憶」が広まっていきました。

それらを介して存在を記憶されてきた名護屋城は、大正・昭和初期になると、大陸への視線も含みながら、新たに観光地としてのすがたを見せていくことになります。

本展覧会では、廃城後の様子を記した史料や地元に関わる関連史料も御紹介しながら、400年に渡って名護屋城が語り継がれた歩みを振り返ります。



黒田家で語られる武功 蔚山城攻城図屏風(福岡市博物館蔵) 明治19(1886)年頃



戦場の武勇伝“加藤清正の虎退治” 展示期間10月17日(火)～11月5日(日)
月岡芳年 正清猛虎討取図(名古屋秀吉清正記念館蔵) 元治元(1864)年



江戸時代の景観を描く
肥前名護屋城諸侯陣跡之図
(本館蔵)江戸時代後期



立花家に伝わる戦いの「記憶」
金箔押桃形兜(公益財団法人立花財団
立花家史料館蔵)桃山時代～江戸時代初期



名護屋城跡見学のお土産品
広沢寺蘇鉄之図(本館蔵)20世紀初頭



加藤清正が討ち取った虎の顎骨
(名古屋秀吉清正記念館蔵)桃山時代

関連イベント

● 記念講演会

「朝鮮の役の城と近代 一倭城と名護屋城」

10月8日(日) 13:30～15:00

講師: 太田秀春 氏(鹿児島国際大学 国際文化学部教授)

事前申込は不要です(聴講無料)

● 学芸員と行く肥前名護屋ヒストリーツアー

文禄・慶長の役に関わる近隣の見どころをご案内します。

・日時10月29日(日)10:30～15:30

・参加無料ただし要事前申込 8月29日(火)から電話等にて申込受付(先着順)

・本館に集合後、バスで移動します。

・定員 30名程度

● 学芸員による展示解説

参加無料 ※40分程度

9月24日(日)・10月15日(日)・22日(日)・11月4日(土)・5日(日) 各14:00～

 **佐賀県立名護屋城博物館**
Saga Prefectural Nagoya Castle Museum

TEL.0955-82-4905 FAX.0955-82-5664

〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3

名護屋城博物館

検索

<http://saga-museum.jp/nagoya/>



佐賀県立名護屋城博物館までのアクセス

【公共交通機関】

唐津大手口バスセンターもしくはJR西唐津駅から
昭和バスで約40分、「名護屋城博物館入口」下車、徒歩5分

【自動車】

<福岡方面から>

福岡都市高速・福岡ICから前原有料道路・二丈浜玉道路を
利用し約75分

<佐賀方面から>

長崎自動車道・多久ICから約80分